

| | | | | | | | |
|---|---|-----|--------------|---|----------------------------------|------|--------------|
| 科目ナンバー | B2601 | 要件 | 選択必修 教職必修 | 授業形態 | 講義 | 対象学生 | I A B II C D |
| 授業科目 | 日本国憲法 | | | | | | |
| 実施期 | 前期 | 単位数 | 2単位 | 授業 担当者 | 山本 雅一 | | |
| 〔科目の概要〕 人権と統治論から構成されている日本国憲法の理念や基本原理を概説するとともに、様々な事例や判例研究を通して法的な見方や考え方を深めていく憲法学習を行う。 | | | | | | | |
| 〔この科目を通して獲得を目指す力〕 | | | | | | | 〔関連DP〕 |
| ア | 日本国憲法の理念と基本原理を理解し、法理に基づく客観的、公正なものの見方や考え方を身に付ける。 | | | | | | 1-b |
| イ | 現代の政治・経済・社会的事象から、憲法上の問題を指摘し、法的課題を的確に整理することができる。 | | | | | | 3-a |
| ウ | 法演習を通して、憲法学習から学んだ法的な見方や考え方を整理・発展させようとしている。 | | | | | | 4-b |
| 〔授業の内容〕 | | | | 〔実施日〕 | 〔授業時間外学習の内容〕 | | |
| 1 | 憲法の意義 | | | 月 日 | シラバスを熟読しておく。 | | |
| 2 | 国民主権と象徴天皇制 | | | 月 日 | 象徴天皇制について調べる。(1時間) | | |
| 3 | 平和主義 | | | 月 日 | 第9条に関する判例を調べる。(1時間) | | |
| 4 | 平等権 | | | 月 日 | 合理的差別と不合理な差別を調べる。(1時間) | | |
| 5 | 自由権的基本権(1) 精神の自由 | | | 月 日 | 「法演習(1) 平等権」をまとめる。(0.5時間) | | |
| 6 | 自由権的基本権(2) 人身の自由 | | | 月 日 | 「法演習(2) 精神の自由」をまとめる。(0.5時間) | | |
| 7 | 自由権的基本権(3) 経済の自由 | | | 月 日 | 「法演習(3) 人身の自由」をまとめる。(0.5時間) | | |
| 8 | 平等権と自由権の判例演習(グループディスカッション・発表学習) | | | 月 日 | 「法演習(4) 経済の自由」をまとめる。(0.5時間) | | |
| 9 | 社会権的基本権(1) 生存権 (獲得を目指す力の確認) | | | 月 日 | 「法演習(5) 生存権」をまとめる。(0.5時間) | | |
| 10 | 社会権的基本権(2) 教育を受ける権利 | | | 月 日 | 社会保障制度を調べる。(1時間) | | |
| 11 | 社会権的基本権(3) 労働基本権 | | | 月 日 | 労働基準法の概要をまとめる。(0.5時間) | | |
| 12 | 社会権の判例演習(グループディスカッション・発表学習) | | | 月 日 | 三権分立のしくみを調べる。(1時間) | | |
| 13 | 国会・立法権と内閣・行政権 | | | 月 日 | 立法権・行政権の行使と国民生活への影響について調べる。(1時間) | | |
| 14 | 裁判所と司法権 | | | 月 日 | 裁判員制度の意義と内容について調べる。(1時間) | | |
| 15 | 地方自治 | | | 月 日 | 憲法学習を復習する。(1時間) | | |
| 16 | 試験 | | | 月 日 | 試験でできなかったところを振り返る。(0.5時間) | | |
| 〔教科書・テキスト〕 プリント教材を使用する。 | | | | 〔成績評価の方法〕 筆記試験50% コメントペーパー・法演習30% 学習意欲・受講態度(授業への関心・意欲・態度)20% | | | |
| 〔参考書・教材〕 | | | | | | | |
| 〔履修要件及び履修上の注意事項〕 | | | | | | | |
| 〔履修上の遵守事項〕 | | | | | | | |
| 〔連絡先・オフィスアワー〕 連絡先： | | | | | | | |
| オフィスアワー： | | | | | | | |

| ＜チェックシート＞ | | | | |
|--------------------------------|------------------------|-------------------------------------|---------------------------------|---|
| 基準 | | レベル 1 | レベル 2 | レベル 3 |
| ア ① | 日本国憲法の理念と基本原理の理解 | 日本国憲法の理念や基本原理を理解している。 | 日本国憲法の理念や基本原理を事例と関連付けて説明できる。 | 日本国憲法に関する事例に対して、法理に基づき妥当な法解釈ができる。 |
| ア ② | 日本国憲法及び関連法令の法知識 | 日本国憲法の条文に関連する法令を指摘できる。 | 日本国憲法と関連する法令から、法理について説明できる。 | 個々の事例に対して憲法及び関連法令を適用し公正な法的判断ができる。 |
| ア ③ | 法理に基づくものの見方や考え方 | 法理に基づいて、社会の正義や公平さの基本的な見方や考え方が理解できる。 | 法理に基づいて、社会の正義や公平さについて論点整理ができる。 | 法理に基づいて、社会の正義や公平さの論点から客観的な法的判断ができる。 |
| イ | 現代の政治・経済・社会的事象と憲法問題の考察 | 現代の政治・経済・社会的事象から、関連する憲法の条文を指摘できる。 | 現代の政治・経済・社会的事象から憲法上の法的論点を整理できる。 | 現代の政治・経済・社会的事象から憲法上の法的な解決策を提示できる。 |
| ウ | 憲法解釈と法的な見方や考え方 | 法演習を通して、妥当な憲法解釈から法理をまとめることができる。 | 法演習を通して判例を理解し、法的な見方・考え方ができる。 | 法演習を通して、法的な見方や考え方を身に付け、自らの生活に生かそうとしている。 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| この科目を通して学んだこと、獲得できた力、できなかった課題等 | | | | |